

## 東から

2013年6月28日 アシェル・イントレーター

アリエル・ブルーメンソール、アリ・ソーコラム、そして私は香港での4日間の集会を終えたばかりです。そこには500人の参加者がおり、彼らは100ほどの教会や祈り家を代表し、それらの主なものは中国の家の教会の「家族」から参加してきた者たちでした。今は、中国と東アジアの霊的、政治的そして経済的な面における預言的突破口の時なのです。

黙示録には二度、強力な力が「東から上ってくる」と述べており、最初は6つ目の封印であり、次は6つ目の鉢のところでは。

### 黙示録 7:2

**また私は見た。もうひとりの御使いが、生ける神の印を持って、日の出るほうから上って来た。彼は、地をも海をもそこなう権威を与えられた四人の御使いたちに、大声で叫んで言った。**

この箇所は、終わりの時の「トランペット」艱難そしてそれらが私たちの時代に始まろうとしている過渡期を表します。大いなる権威を持つ御使いが現れ、それは強力に祈るその国の聖徒らの集団によって支えられているものでなくてはなりません。現代において、世界で最も大きい国の教会は中国本土の教会であり、恐らく最も活発なのは韓国です。

リバイバルと啓示の霊が現在東アジアから上っています。東アジアの経済的、政治的な力も同様に上昇しています。中国は恐らく近い将来アメリカ合衆国を越える過程にあり、地上で最も影響力のある国となるでしょう。これには肯定的な、そして否定的な要素があります。

### 黙示録 16:12

**第六の御使いが鉢を大ユーフラテス川にぶちまけた。すると、水は、日の出るほうから来る王たちに道を備えるために、かれてしまった。**

これらの東からの「王たち」(政治的指導者)と共にやって来るのは獣と竜からの悪魔的な霊です。彼らは奇跡的なしるしを行い、そして、イエシュア(イエス)の再臨の前に、ハルマゲドンの戦いにおいてイスラエルを攻撃するために国々を集結させます。私たちは、時代のしるしに気づき、中国と東アジアの教会のために祈ろうではありませんか。

## 地元のCongregation

エディ・サントロ

地元のCongregationの設立と強化はパウロの使徒としての宣教の旅の、第一義的な目標であり、ほとんどの書簡は、地元の、新約聖書に述べられた共同体宛に書かれたものです。地元のCongregationは地上における主のいのちを表す神の管であり、そこは新しい信者が訓練を受け、そして信仰歴の長い者は成長し成熟することのできる「学校」でした。そこは私たちが試練を受ける「炉」であり、すべての国でのリバイバルの水源です。

神は人々を救いますが、そこで止まりません。私たち各人がこのすばらしいキリストの体での自分の持ち場を占め、この、愛と犠牲に熱心に取り組む事こそ「いける石」が神の霊の住まわれるところへ結びつけるのです。

地元のCongregationが神の目的の中心であるために、それを敵が攻撃することは驚くことではありません。敵は牧者を打って羊を散らせるのです。敵は惑わしを蒔き、争いを愛と平和に満ちるように意図されたその家に蒔きます。そうすることによって、一致が破壊されるのです。私たちがエルサレムに引っ越してきてから、最低でも三つの成長するCongregationが消滅しました。

健全なキリストの体とは単によい集会が行われているのではなく、毎日、愛の関係で結び合わされているいのちの表現なのです。私たちのCongregationのメンバーたちの結びつきが深まることは、神の目的が達成されるための重要なステップであり、分裂させようとする敵の戦略を回避させるものなのです。

イスラエル社会の特性そのもの、すなわち、人々は長時間働き、子どもたちは六日間学校に行くことが、この目標に到達することと競争することになります。多くの人々は車を持たないので、目的地へ行くために公共の交通機関に頼っています。これらすべてによって自由な時間が少なくなってしまう。この国では、地元の信者のためにイベントを計画することは、主要な挑戦なのです。神のキリストの体がここエルサレムとイスラエル全土において設立され、十分に成長するようにどうかお祈り下さい。